

1926 (大正15・昭和1)年 一大正天皇崩御(12/25) -

◆社会: アムゼン大佐一飛行船『ノグ号』北極横断成功。

◇テニス: デビスカップ - 北米ゾーン優勝(原田、俵等)、
原田は米テニグ 3位。インターゾーン 仏に敗退。
原田はロシア、コシエに勝。

(今村嘉雄編「体育史資料年表」不味堂書店刊)

第1回【関西学生大学対抗庭球トーナメント】(/ ~ /)

◇本学テニス: 京都学生庭球連盟秋季リーグ - ○ 7-2 三高 (泉・田村・
篠瀬・沖・射延・川廷・沖・篠瀬・田村・川廷・泉・射延)、○ 7-2 龍大
(古川・大畑・篠瀬・沖・射延・川廷・古川・岸本・沖・篠瀬・泉)、
予科チーム(篠瀬・沖・古川・大畑) ○ 5-0 立命大、○ 3-2 大谷大、
優勝戦(古川・大畑・篠瀬・沖・射延・川廷・古川・沖・篠瀬・川廷・泉)
○ 6-3 京都高織を連覇し、京都専門学校を制覇。
(泉・田村・篠瀬・沖・射延・川廷・古川・大畑など)

(同志社新聞2号S2/刊)

1926 (大正15・昭和1)年

【関西学生庭球選手権】第2回

(9月17日 ~)

(男子シングルス)

▽5回戦

射延 治郎 6-3 6-4 井上 (関学)

▽準々決勝

射延 治郎 2-6 1-6 中村(文)(関学)

(男子ダブルス)

▽準々決勝

篠瀬・沖 4-6 4-6 中村・井上(関学)

田村・望月 0-6 1-6 佐藤・秋元(関学)

射延・川廷 2-6 3-6 川上・遠藤(京大)

1926 (大正15・昭和1)年

【全京都学生庭球連盟秋季リーグ戦】

(10月 日 ~)

○ 同志社 7 (複3-0 単4-2) 2 三高
(ダブルス)

○ 泉・田村 6-3 6-4 鈴木・水口

○ 篠瀬・沖 6-4 6-3 大本・四本

○ 射延・川廷 6-1 6-0 天川・大原

(シングルス)

○ 沖 6-0 6-2 水口

○ 篠瀬 秀雄 6-3 6-3 鈴木

× 田村豊三郎 1-6 2-6 四本

○ 川廷善一郎 6-3 6-4 大本

× 泉 0-6 4-6 大原

○ 射延 治郎 6-1 6-1 天川

○ 同志社 7 (複3-0 単4-2) 2 龍谷大
(ダブルス)

○ 古川・大畑 6-3 6-3 岡・波北

○ 篠瀬・沖 6-3 7-5 寺尾・明山

○ 射延・川廷 8-6 7-5 島田・上司

(シングルス)

○ 古川直二郎 6-2 6-3 岡

× 岸本 秀夫 1-6 7-5 3-6 波北

○ 沖 9-7 6-3 明山

× 篠瀬 秀雄 6-4 3-6 3-6 寺尾

○ 泉 6-3 2-6 6-1 島田

○ 射延 治郎 棄権 土可

○ 予科 5 (複 単) 0 立命大
(ダブルス)

(シングルス) 大畑 古川 沖 篠瀬

○ 予科 3 (複 単) 2 大谷大
(ダブルス)

(シングルス) 大畑 古川 沖 篠瀬

▽決勝(優勝)

○ 同志社 6 (複1-2 単5-1) 3 京都高専
(ダブルス)

× 古川・大畑 3-6 2-6 山田・高井

× 篠瀬・沖 6-3 3-6 4-6 石崎・川畑

○ 射延・川廷 6-0 6-3 今村・石川

(シングルス)

○ 古川直二郎 6-3 6-1 石川

× 沖 6-0 8-6 山田

○ 篠瀬 秀雄 6-3 6-0 川畑

× 川廷善一郎 1-6 6-8 石崎

○ 泉 6-3 6-4 高井

○ 射延 治郎 6-4 8-6 今村

(以上 同志社新聞 第2号)

1927 (昭和2)年

◆社会: 金融恐慌始まる(4/21) - 株式大暴落(4/22)。

リンドバーグ 大西洋無着陸横断飛行(5/21)。

日本初の地下鉄開通(浅草-上野)(12/30)。

◇テニス: デビス杯 - インターゾーン決勝 仏に 0-5 で敗退(8/25~8/27)。
ハワイの女子庭球選手 森分徳子(9/30~11/9)来日。

◇本学テニス: 大学学友会庭球部新役員決定 - 部長: 山田貞夫、理事: 今井和夫、委員: 射延次郎、安藤光治(1/)(学友会傘下-語学部、音楽部、絵画部、野球部、庭球部、蹴球部、藍球部、柔道部、剣道部、相撲部、陸上競技部、弓道部、端艇部、水泳部、馬術部)なお、高商学友会庭球部も別途あった(1/)。(同志社新聞2号S2/1刊)
高商庭球部役員(部長: 林教授、理事: 谷章平 委員: 田村豊三郎、望月 寛一)(1/)。(同志社新聞2号S2/1刊)
庭球部を称し今やわれ等大活動の初頭に立つに至れり。
同志社大学開校と相待ちてこの機運に際会したるわれ等意気上がる。本学よりコート3面新設。と記述する(5/)。

大学庭球部-京都連盟トーナメント単複優勝(1回戦-隠岐、篠瀬、射延、安藤、澤川、沖、古川、4回戦-射延、川廷、田村、戸川、沖、準決勝-沖、田村、射延、決勝-射延、沖、複準決勝-射延・川廷、篠瀬・沖、古川・隠岐、優勝-射延・川廷)。なお、先立つ関西学生トーナメントでも好成績を収めたと記載。(同志社新聞13号S2/10刊)

大学庭球部-全京都学生春季トーナメント(単-川廷、篠瀬、沖、田村、古川、隠岐、八木、戸川、武井、出場、八木準決勝で惜敗、沖4回戦で敗退、複振るわず敗退。(同志社新聞24号S3/6刊)

大学庭球部-8月に10日間、浜の宮コートで合宿し全日本庭球選手権に備える。(同志社新聞25号S3/7刊)

大学庭球部京都連盟トーナメント-単(射延)複(射延・川廷)優勝。(10/)。(同志社新聞13号S2刊)

1927 (昭和2)年

【毎日全日本庭球トーナメント】第6回(【毎日庭球選手権】)

(4月 4日~12日 浜寺・甲子園・神崎川)

(男子シングルス)

▽2回戦

篠瀬 秀雄(同大) 1-6 0-6 上原(関学)

1927 (昭和 2) 年

【関西学生庭球選手権】第3回

(9月13日～)

(男子シングルス)

▽準々決勝

射延 治郎 2-6 1-6 森川 (高) (関 学)

(男子ダブルス)

▽準々決勝

射延・川廷 6-0 6-4 中村・加藤(関 学)

▽準決勝

射延・川廷 2-6 2-6 2-6 上原・神代(関 学)

1927 (昭和 2) 年

【全京都学生庭球連盟秋季トーナメント】

(10月 日～)

(男子シングルス)

▽1回戦

三窪岐 6-1 3-6 3-6 水口 (三 高)

篠瀬 秀雄 6-0 6-0 高橋 (高 工)

射延 治郎 6-2 6-1 望月 (同 商)

安藤 棄権 澤田 (高 蚕)

川廷善一郎 6-3 6-4 田井 (三 高)

戸川 保之 6-1 6-1 古川 (龍 大)

沖 棄権 木下 (龍 大)

古川直二郎 6-4 6-3 田中 (立 大)

八木千代三 4-6 6-1 6-8 四本 (三 高)

▽2回戦

射延 治郎 棄権 篠瀬 秀雄(同大)

安藤 9-7 11-9 吉藤 (谷 大)

川廷善一郎 6-1 6-0 池田 (龍 大)

戸川 保之 6-0 6-0 橋 (龍 大)

沖 6-1 6-2 角山 (立 大)

古川直二郎 6-4 6-0 小笠原(谷 大)

▽3回戦

射延 治郎 6-0 6-1 籠谷 (三 高)

川廷善一郎 3-6 棄権 安藤 (同大)

戸川 保之 6-4 8-6 本多 (谷 大)

沖 6-4 4-6 棄権 古川直二郎(同大)

▽4回戦

射延 治郎 棄権 川廷善一郎(同大)

戸川 保之 2-6 2-6 田村 (同 商)

沖 6-4 6-2 高屋 (医 大)

▽準決勝

沖 9-7 6-2 3-6 6-4 田村 (同 商)

射延 治郎 1-6 6-1 6-3 4-6 6-1 水口 (三 高)

▽決勝 射延治郎(同大) <優勝> 中止 <準優勝> 沖 (同大)

(男子ダブルス)

▽1回戦

八木・戸川 4-6 3-6 四本・水口(三 高)

篠瀬・沖 6-2 7-5 角山・田中(立 大)

射延・川廷 棄権 末松・村瀬(立 大)

古川・隠岐 6-4 6-2 石川・松尾(高 蚕)

▽2回戦

篠瀬・沖 6-3 6-3 望月・浅井(同 商)

射延・川廷 6-2 6-4 田村・由良(同 商)

古川・隠岐 6-4 6-4 山田・高屋(医 大)

▽準決勝

篠瀬・沖 3-6 6-8 6-2 0-6 四本・水口(三 高)

射延・川廷 6-3 10-8 棄権 古川・隠岐(同 大)

▽決勝

射延・川廷 6-4 6-4 6-4 四本・水口(三 高)

<優勝>

(以上 同志社新聞 第13号)

1927 (昭和 2) 年

【全日本庭球選手権】第6回

(11月6日～15日 甲子園・浜寺)

(男子ダブルス) (B-32)

▽1回戦

射延・川廷(同大) def 保田・野沢(商 大)

▽2回戦

射延・川廷(同大) 4-6 6-2 5-7 6-2 2-6 鳥山・大藪(大阪ク)

1928 (昭和 3) 年

◆社会：銀行法実施(1/1)。川上 肇、京大免職。

第1回 普通選挙(第16回衆議院)(2/20)。

関東軍、列車爆破で張作霖爆殺。

◇SPT：第2回 冬季五輪メリッヅ大会(2/11~2/19)。

第9回 アムステルダム五輪(7/28~8/12) - 日本初金メダル獲得。

(三段跳-織田幹雄 二百平-鶴田義行 八百-人見絹江-銀)

◇テニス：【関西大学対抗庭球トーナメント】 アンダーコート出現

◆本 学：有終館出火消失、総長理事全員辞職。

◇本学テニス：大学庭球部 - 【定期戦】第1回 対 立教大学戦

(6月 日・日同志社) 4-5 惜敗(複-古川・隠岐、沖・八木、

川廷・篠瀬、単-八木、隠岐、古川、田村、沖、篠瀬)。

(同志社新聞 27号 S 3/9 刊)

大学庭球部 全京都学生春季トーナメント B4 八木(同志社新聞 24号 S3 刊)

大学庭球部 8/浜の宮コートで合宿全日本準備(同志社新聞 25号 S3 刊)

関西庭球カレ秋季トーナメント出場選手-記載(篠瀬、田村、沖、吉川、

隠岐、古川、戸川、豊村)。(同志社新聞 28号 S 3/10 刊)

1928 (昭和 3) 年

【関西大学対抗庭球トーナメント】

(月 日～)

<男子>

▽準々決勝

× 同志社 3 (複0-3 単3-3) 6 関 大

(ダブルス)

No1×川廷・篠瀬 4-6 5-7 戎・若林

No2×古川・隠岐 6-4 3-6 1-6 鎌田・清水

No3×八木・戸川 6-8 6-3 4-6 中村・永田

(シングルス)

No1×岸本 秀夫 0-6 0-6 戎 肇

No2×川廷善一郎 3-6 0-6 後藤

No3○篠瀬 秀雄 6-3 6-4 中村

No4×古川直二郎 2-6 1-6 鎌田

No5○八木千代三 7-5 7-5 平池

No6○隠岐 貞夫 6-3 7-5 清水

1928 (昭和 3) 年

【定期戦】第1回 対 立教大学戦

(6月 日・日 同志社)

× 同志社 4 (複1-2 単3-3) 5 立教大

(ダブルス)

No1×川廷・篠瀬 2-6 7-5 2-6 3-6 森・宇野

No2×沖・八木 4-6 6-4 6-4 4-6 4-6 北原・松尾

No3○古川・隠岐 6-2 6-4 6-2 高橋・中島
(シングルス)

No1×篠瀬 秀雄 1-6 2-6 0-6 森
No2○沖 5-7 6-4 8-6 2-6 6-2 橋本
No3×田村豊三郎 2-6 3-6 2-6 宇野
No4×古川直二郎 3-6 4-6 6-1 13-15 松尾
No5○隠岐 貞夫 6-3 6-4 6-3 北原
No6○八木千代三 6-4 6-1 6-4 高橋

(以上 同志社新聞 第27・28号)

『田村豊三郎氏にポイントがかかり、負けてコートの上で、寝転んで、両手、両足をバタバタして、泣いた。』事でも有名又、田村豊三郎氏は、自宅にコートがあり、現役がよく、プレーをさせて頂いたそうです。

(S21年卒 島岡博次氏談)

1928 (昭和 3) 年

【毎日全日本庭球トーナメント】第7回 (【毎日庭球選手権】)

(4月 9日~15日 浜寺・甲子園)

(男子シングルス)

▽2回戦

浦井 (同大) 3-6 0-6 上原 (関学)
古川直二郎(同大) 8-6 6-4 木戸 (関大)

1928 (昭和 3) 年

【関西庭球選手権】第7回

(5月13日~ 甲子園・浜寺・他)

(男子シングルス)

▽4回戦

隠岐 貞夫(同大) 4-6 1-6 秋元 (関学)

1928 (昭和 3) 年

【全京都学生庭球連盟春季トーナメント】

(6月 日~)

(男子シングルス)

▽1回戦 川廷 篠瀬 沖 田村 古川 隠岐 八木 戸川
武井

▽4回戦 沖 八木

▽準決勝 八木

(以上 同志社新聞 第24号)

1928 (昭和 3) 年

【関西庭球インターカレッジ秋季トーナメント】

(9月 日~)

(男子シングルス)

▽1回戦 篠瀬 田村 沖 吉川 隠岐 古川 戸川 豊村

(男子ダブルス)

▽1回戦 川廷・篠瀬 沖・八木 隠岐・古川 戸川・豊村

1928 (昭和 3) 年

【関西学生庭球選手権】第4回

(11月 4日~ 三高・同大・甲子園)

(男子シングルス)

▽4回戦

豊村 光雄 0-6 3-6 森川 (高) (関学)

浅井 3-6 7-5 3-6 中村 (関学)

古川直二郎 1-6 0-6 戒 (関大)

▽5回戦

田村豊三郎 4-6 2-6 上原 (関学)

(男子ダブルス)

▽準々決勝

古川・隠岐 def 吉岡・森川(関学)

1929 (昭和 4) 年

◆社会：ニューヨーク株式大暴落(世界恐慌の始まり)(10/24)。

リ連、スカーソ独裁体制確立。山本宣治、暗殺される。

産業合理化政策本格的に始まる。

◇テニス：第1回【全日本学生庭球選手権】(8/18~ 早大 上井草)

◆本学：高等商業部(商業学校)岩倉に移転。(同志社新聞 号) 大工原銀太郎(第9代)一総長に就任。

◇本学テニス：大学学友会庭球部役員(部長：山田貞夫、理事：布川巖、委員：川廷善一郎、篠瀬秀雄)。(同志社新聞 号S4/1刊)

1929 (昭和 4) 年

【定期戦】第2回 対 立教大学戦

(月 日・ 日)

× 同志社 (複 - 単 -) 立教大

(ダブルス) 川廷・篠瀬

(シングルス) 川廷 篠瀬

1929 (昭和 4) 年

【毎日庭球選手権】第8回

(4月 9日~16日 甲子園・浜寺)

(男子シングルス)

▽2回戦

由良 (同高商) 6-8 4-6 中村 (関学)

(男子ダブルス)

▽3回戦

布川・古川(同大) 0-6 0-6 上原・神代(関学)

1929 (昭和 4) 年

第1回【全日本学生庭球選手権】(8/18~早大 上井草)

(男子シングルス)(B-) (男子ダブルス)(B-)

1929 (昭和 4) 年

【関西庭球選手権】第8回

(8月28日~ 甲子園)

(男子シングルス)

▽4回戦

古川直二郎(同大) 0-6 4-6 桑原 (神商大)

1929 (昭和 4) 年

【関西学生庭球選手権】第5回

(9月14日~ 甲子園)

(男子ダブルス)

▽4回戦

川廷・八木 2-6 2-6 戒・長棟(関大)

1929 (昭和 4) 年

【全日本庭球選手権】第8回

(11月 5日~16日 甲子園)

(男子シングルス)(B-64)

▽1回戦

八木千代三(同大) 5-7 6-1 11-9 6-3 山瀬 (東京大)

▽2回戦

八木千代三(同大) 4-6 3-6 5-7 鴨打 (ポプラ)

(男子ダブルス)(B-32)

▽1回戦

川廷・八木(同大) 1-6 0-6 1-6 山岸・志村(慶応大)

1930 (昭和 5) 年

◆社会：浜口雄幸首相、暗殺される。

特急『つばめ』運転開始(東京～神戸間)(10/1)。

◇SPT：第1回 ワールドカップサッカー(7/13～ウグアイ)

◆本学：(庭球部の対立教定期戦をきっかけに)

学友会(各部) 第1回 対立教定期戦、立教にて開催(5/)。

(同志社校友会同窓会報第165号S7/6刊)

テニ杯選手 安部 民雄、本学に迎える。

1930 (昭和 5) 年

【定期戦】第3回 対立教大学戦

(9月24日・25日 同志社)

×同志社 4 (複1-2 単3-3) 5 立教大

(ダブルス)

No1×隠岐・古川 3-6 1-6 6-2 3-6 松尾・北原

No2×八木・三宅 6-2 4-6 4-6 1-6 藤沢・東

No3○篠瀬・布川 4-6 6-4 6-0 6-4 小宮山・田中

(シングルス)

No1○古川直二郎 6-4 6-2 3-6 3-6 6-4 藤沢

No2×八木千代三 6-0 6-4 2-6 2-6 2-6 東

No3○隠岐 貞夫 6-2 6-3 6-1 松尾

No4×篠瀬 秀雄 4-6 5-7 6-3 1-6 北原

No5○三宅 徳郎 6-3 6-4 6-3 小宮山

No6×城野 修一 6-2 6-3 6-8 3-6 3-6 伊與田

1930 (昭和 5) 年

【毎日庭球選手権】第9回

(4月29日～5月11日 甲子園・浜寺)

(男子ダブルス)

▽2回戦

田村・布川(同大) 3-6 0-6 中村・鶴原(関学)

1930 (昭和 5) 年

【関西庭球選手権】第9回

(8月31日～ 甲子園)

(男子シングルス)

▽4回戦

古川直二郎(同大) 1-6 1-6 桑原 (神商大)

1930 (昭和 5) 年

【関西学生庭球選手権】第6回

(9月22日～)

(男子ダブルス)

▽準々決勝

八木・三宅 6-3 3-6 2-6 伊藤 兄弟((旧)甲南高)

1930 (昭和 5) 年

【全日本庭球選手権】第9回

(11月 1日～10日 早大 上井草)

(男子シングルス) (B-64)

▽1回戦

八木千代三(同大) 4-6 2-6 2-6 牧野 (一橋大)

古川直二郎(同大) 2-6 6-3 3-6 3-6 西村 (慶応大)

(男子ダブルス) (B-32)

▽1回戦

八木・三宅(同大) 4-6 1-6 2-6 松尾・相良(明治大)

1931 (昭和 6) 年

◆社会：満州事変勃発(9/18)。英、金本位制廃止。ヒトラー死去。

ハートマン・パンゴボーン(米)は、青森より離陸し、

北太平洋無着陸飛行成功(10/3～10/5)。

◇テニス：全日本学生庭球連盟設立。

◆本学：学友会 第2回 対立教定期戦、本学にて開催。

両校500名参加(庭球、卓球、水泳、野球、剣道、籠球、蹴球、

英語弁論大会) 堀 貞一 祈祷、パレット博士聖書朗読、総長式辞、

当日新島八重葬儀日の為、葬儀時間中黙祷す。

(校友会同窓会報(創立60周年記念誌) S12刊)

◇本学テニス：大学庭球部-【定期戦】第4回 対立教大学戦

(月日・日同志社) ○5-4 勝利(複-榎本・城野 戸川・武井

八木・三宅、単-榎本、浅野、武井、戸川、三宅、八木)。

(同志社校友会同窓会報第165号S7/6刊)

庭球部-関西庭球部(カレ)八木・三宅1-3 準優勝全国シヤング 上位入り

(校友会会報(創立60周年記念誌)) (同志社が への歩み1960刊)

1931 (昭和 6) 年

【定期戦】第4回 対立教大学戦

(9月 9日・10日 立教大)

○同志社 5 (複2-1 単3-3) 4 立教大

(ダブルス)

No1○岡本・城野 6-2 8-6 6-1 中島・樹

No2×戸川・武井 0-6 6-3 10-8 0-6 3-6 田中・大川

No3○八木・三宅 6-1 9-7 7-5 佐久間・伊與田

(シングルス)

No1×榎本 重俊 0-6 4-6 10-8 2-6 田中

No2○浅野 7-5 6-2 6-2 大川

No3×武井 安夫 3-6 1-6 6-4 3-6 桂

No4×戸川 保之 6-8 1-6 3-6 伊與田

No5○三宅 徳郎 6-4 6-2 6-0 田中(鐘)

No6○八木千代三 6-3 6-3 6-3 佐久間

1931 (昭和 6) 年

【毎日庭球選手権】第10回

(4月26日～ 浜寺)

(男子シングルス)

▽2回戦

古川直二郎(同大) 12-10 2-6 4-6 戎 (関大)

1931 (昭和 6) 年

【関西庭球選手権】第10回

(8月30日～9月6日 甲子園)

(男子シングルス) (男子ダブルス)

1931 (昭和 6) 年

【関西学生庭球選手権】第7回

(9月14日～)

(男子シングルス)

▽2回戦

八木千代三 4-6 6-8 長棟 (関大)

▽4回戦

一木 (同高商) 0-6 2-6 戎 (関大)

(男子ダブルス)

▽2回戦

西尾・西尾(同高商) 0-6 0-6 永田・長棟 (関大)

▽3回戦
小池・西脇(同高商) 3-6 1-6 永田・長棟(関大)
▽準々決勝
八木・三宅 2-6 4-6 戎・藤井(関大)

1931(昭和6)年

【関西庭球インターカレッジ秋季トーナメント】
(月日～)

(男子ダブルス)

▽決勝
八木・三宅(同大) 1-3 堀越・鶴飼(関学)
〈準優勝〉

1931(昭和6)年

【全日本庭球選手権】第10回
(11月8日～17日 甲子園)

(男子シングルス)(B-64)

▽1回戦
八木千代三(同大) 3-6 2-6 2-6 吉川(早稲田大)
三宅 徳郎(同大) 1-6 0-6 2-6 山岸(慶応大)
(男子ダブルス)(B-32)

▽1回戦
八木・三宅(同大) def 新谷・河村(名高商)
▽2回戦
八木・三宅(同大) 2-6 6-1 2-6 4-6 秋元・上原(大沢商会)

1931(昭和6)年

【京都選手権テニス大会】
(月日～)

(男子シングルス)〈優勝〉 (男子ダブルス)〈優勝〉

1932(昭和7)年

- ◆社会: 5.15事件(犬養毅首相、暗殺される)。日満議定書調印。満州国建国宣言。ドイツ、ナチスが第1党になる。
- ◇SPT: 第1回 日本ダービー(4/24 目黒)。第3回 冬季五輪 レイブランス大会(2/4～2/13) 第10回 ロサンゼルス五輪(7/30～8/14)。
- ◇テニス: 佐藤次郎全仏、全英で活躍世界ランキング3位 同時代に布井、山岸、藤倉、三木など活躍。第2回【全日本学生東西対抗庭球試合】(10月16日・17日浜寺)
- ◆本学: 栄光館、アモスト館、新島会館完成。新島八重永眠。
- ◇本学テニス: 全日本学生テニスランキング一複8位八木・長辻。

1932(昭和7)年

【定期戦】第5回 対 立教大学戦
(6月17日・18日 同志社)

○同志社 5(複2-1 単3-3) 4 立教大
(ダブルス)

No1○八木・三宅 7-5 9-7 6-1 佐久間・伊與田
No2×戸川・武井 0-6 6-3 10-8 0-6 3-6 田中・大川
No3○榎本・城野 6-2 3-6 8-6 9-11 6-1 中島・桂
(シングルス)
No1○八木千代三 6-3 6-3 6-3 佐久間
No2○三宅 徳郎 6-4 6-2 6-0 田中(鐘)
No3×戸川 保之 6-8 1-6 3-6 伊與田
No4×武井 安夫 3-6 1-6 6-4 2-6 桂

No5○城野 修一 7-5 6-2 6-2 大川
No6×榎本 重俊 6-0 4-6 0-6 2-6 田中(綱)

1932(昭和7)年

【毎日庭球選手権】第11回
(4月25日～5月3日 浜寺・甲子園)

(男子ダブルス)

▽準々決勝
八木・三宅(同大) 1-6 3-6 3-6 秋元・上原(大沢商会)

1932(昭和7)年

【関西大学対抗庭球トーナメント】
(月日～)

<男子>

▽2回戦
×同志社高商 2(複-単-) 7 関大

1932(昭和7)年

【全日本学生庭球選手権】第4回
(8月15日～ 甲子園)

▽準々決勝 八木・三宅(同大)一

1932(昭和7)年

【関西学生庭球選手権】第8回
(9月1日～ 甲子園)

(男子シングルス)

▽1回戦
常盤 達夫 6-2 5-7 6-3 隈本 (関大)
▽4回戦
岩崎 善祐 1-6 0-6 藤井 (関大)
三宅 徳郎 3-6 6-2 2-6 木下 (関学)
▽5回戦
八木千代三 1-6 4-6 藤井 (関大)
(男子ダブルス)
▽4回戦
八木・三宅 6-3 6-3 木本・高橋 (関学)
▽準々決勝
八木・三宅 6-4 6-2 田中・今中(三高)
▽準決勝
八木・三宅 6-3 7-9 6-1 6-3 不破・光村(旧)甲南高
▽決勝
八木・三宅 6-4 7-9 3-6 2-6 堀越・鶴原(関学)
〈準優勝〉

1932(昭和7)年

【関西庭球選手権】第11回
(9月11日～ 甲子園)

(男子シングルス)

▽2回戦
小西(同高商) 1-6 1-6 戎(関大)
城野 修一(同大) 3-6 5-7 藤井(関大)
(男子ダブルス)
▽準々決勝
八木・三宅(同大) 1-6 5-7 堀越・鶴原(関学)

1932(昭和7)年

【全日本学生東西対抗庭球試合】第2回
(10月16日・17日 浜寺)

<男子>

× 西 軍 3 (複1-4 単2-6) 10 東 軍 (ダブルス)

No3×八木・三宅 6-3 1-6 6-4 後藤・榎本 (同 大) 0-6 2-6 (東京大)

1932 (昭和 7) 年

【全日本庭球選手権】第11回

(10月29日~11月12日 帝大・早大)

(男子シングルス) (B-64)

▽1回戦

長辻(三宅)徳郎(同大) 6-2 6-3 6-3 岡田 (慶応大)

八木千代三(同大) 2-6 3-6 4-6 藤倉 (明治大)

▽2回戦

長辻(三宅)徳郎(同大) 0-6 2-6 1-6 山岡 (早稲田大)

(男子ダブルス) (B-32)

▽1回戦

八木・長辻(三宅)(同大) 6-3 2-6 4-6 3-6 石川・服部(早稲田)

1933 (昭和 8) 年

◆社会: 日本、国際連盟を脱退(3/27)。ニュー Deal 政策開始(3/4)。

ドイツ ナス、ヒター内閣成立。

日本の綿布輸出量、英国を抜き、世界一。

◇テニス: 【全国高専庭球大会】 【甲子園春季トーナメント】

◇本学テニス: 同志社高商庭球部、全国高専庭球大会で優勝。

(校友会同窓会報(創立60周年記念誌) S12刊)

1933 (昭和 8) 年

【全国高専庭球大会】

(月 日~)

同志社高商庭球部 <優 勝>

1933 (昭和 8) 年

【甲子園春季トーナメント】

(月 日~ 甲子園)

(男子シングルス)

▽2回戦

岩崎 善祐(同大) 2-6 3-6 藤井 (関 大)

(男子ダブルス)

▽3回戦

岩崎・常盤(同大) 0-6 4-6 戎・川廷(関 大)

1933 (昭和 8) 年

【毎日庭球選手権】第12回

(4月22日~27日 浜寺・甲子園)

(男子ダブルス)

▽1回戦

榎本・城野(同大) 3-6 6-1 6-0 木山・尾崎(関 大)

(2回戦以降戦績 不明)

1933 (昭和 8) 年

【関西学生庭球選手権】第9回

(8月 3日~ 甲子園)

(男子シングルス)

▽1回戦

北川 武造 0-6 0-6 山田 (関 大)

宮尾 弘道 6-4 1-6 6-4 隈本 (関 大)

▽2回戦

石田 (同大) 3-6 1-6 倉光 (関 大)

宮尾 弘道

▽3回戦

岩崎 善祐 2-6 4-6 尾崎 (信) (関 学)

宮尾 弘道 2-6 6-8 尾崎 (関 大)

三宅 徳郎 6-3 6-1 龍田 (関 学)

▽4回戦

三宅 徳郎 6-0 6-2 尾崎 (関 大)

▽準々決勝

三宅 徳郎 7-5 6-4 尾崎 (信) (関 学)

▽準決勝

三宅 徳郎 0-6 3-6 1-6 増山 (京 大)

(男子ダブルス)

▽1回戦

三宅・城野 6-4 6-3 木山・尾崎 (関 大)

▽2回戦

三宅・城野 (スコア不明)

宮尾・岩崎 (スコア不明)

▽3回戦

宮尾・岩崎 2-6 0-6 尾崎・村木 (関 学)

1933 (昭和 8) 年

【関西庭球選手権】第12回

(9月10日~ 甲子園)

(男子シングルス)

▽2回戦

石田 (同大) 2-6 0-2 def 戎 (ガマヤ倶楽部)

岩崎 善祐(同大) 4-6 3-6 倉光 (関 大)

▽3回戦

三宅 徳郎(同大) 10-8 6-3 倉光 (関 大)

▽4回戦

三宅 徳郎(同大) 1-6 9-11 林 (京 大)

1933 (昭和 8) 年

【全日本学生東西対抗庭球試合】第3回

(10月21日・22日 浜寺)

<男子>

× 西 軍 0 (複0-5 単0-8) 13 東 軍 (ダブルス)

No2×三宅・村木 2-6 4-6 3-6 西村・山岸

(同大・関学) (慶 大)

1933 (昭和 8) 年

【全日本庭球選手権】第12回

(11月 5日~17日 甲子園)

(男子シングルス) (B-64)

▽1回戦

三宅 徳郎(同大) def 若田 (明治大)

▽2回戦

三宅 徳郎(同大) 7-5 3-6 3-6 2-6 藤倉 (明治大)

1934 (昭和 9) 年

◆社会: 室戸台風来襲(9/21)。住友を先鞭とする満州進出始まる。

東北冷害・西日本早害・関西風水害の為、米等大凶作。

◇SPT: プロ野球チーム(大日本東京野球倶楽部)誕生(12/26)。

◇テニス: ウィンブルドン大会、混合ダブルス優勝

—三木竜喜・ラット(英国)組。

◇本学テニス: 三宅 徳郎、東西対抗のメンバーに入る。

坂野 主務、学連幹事長で活躍。名古屋での東西対抗戦を計画、西軍の監督を務める。(同志社スポーツの歩み1960刊)

【関西大学リーグ戦】(月 日～)

- ①神戸商大(現・神大) ②関学大 ③同志社大 ④阪大 ⑤京大 ⑥大阪商大(現・大市大) ⑦関大

1934(昭和9)年

【関西大学リーグ戦】

(月 日～)

- ①神戸商大(現・神大) ②関学大 ③同志社大 ④阪大 ⑤京大 ⑥大阪商大(現・大市大) ⑦関大

1934(昭和9)年

【毎日庭球選手権】第13回

(5月 1日～ 6日 浜寺)

(男子ダブルス)

▽2回戦

三宅・常盤(同大) 8-6 3-6 2-6 藤井・倉光(関大)

1934(昭和9)年

【関西学生庭球選手権】第10回

(8月 6日～ 甲子園)

(男子シングルス)

▽1回戦

北川 武造 0-6 1-6 倉光 (関大)
村上(同大) 3-6 4-6 寺沢 (関大)

▽4回戦

一木 実也 0-6 1-6 木下 (関学)

(男子ダブルス)

▽3回戦

富尾・中垣 0-6 0-6 木下・尾崎(関学)
井上・一木 6-8 6-4 3-6 高橋・窪井(関学)
城野・岩崎 3-6 6-3 15-13 北福・山田(関大)

▽準々決勝

城野・岩崎 4-6 1-6 清洲・川村(関学)

1934(昭和9)年

【関西庭球選手権】第13回

(9月10日～ 甲子園)

(男子シングルス)

▽2回戦

城野(同高商) 0-6 0-6 倉光(関大)

▽4回戦

城野 修一(同大) 1-6 11-9 2-6 大江(京大)
三宅 徳郎(同大) 2-6 6-2 2-6 有岡(田辺製薬)

(男子ダブルス)

▽2回戦

西脇・城野(同高商) 5-7 6-1 2-6 山田・北福(関大)

▽3回戦

城野・岩崎(同大) 3-6 6-8 藤井・倉光(関大)

1934(昭和9)年

【関西OB・学生庭球対抗戦】

(月 日～)

(男子ダブルス)

城野・三宅(OB同大) 0-6 2-6 戎・朝長(関大)

1934(昭和9)年

【全日本庭球選手権】第13回

(11月 4日～14日 慶応)

(男子シングルス)(B-64)

▽1回戦

三宅 徳郎(同大) 10-12 0-6 2-6 高田 (東商大)

(男子ダブルス)(B-64)

▽1回戦

城野・岩崎(同大) 5-7 1-6 2-6 中谷・若田(明治大)

1935(昭和10)年

◆社会:ドイツ人の市民権剥奪。衆議院、国体明徴決議。美濃部達吉の天皇機関説、批判される。

初の年賀郵便切手発行(12/1)。

◇テニス:大阪でショットでテニスの女性が、く良俗に反するとして他の女性会員から締め出される。

◆本学:湯浅 八郎(第10代)一総長に就任。

高商で神棚設置事件起こる。

◇本学テニス:大学庭球部(西脇、城野、山口、藤井、宮尾弘道、神社一郎) (校友会同窓会報(創立60周年記念誌)S12刊)

1935(昭和10)年

【毎日庭球選手権】第14回

(4月 30日～5月5日 浜寺)

(男子シングルス)

▽3回戦

井上 元正(同大) 0-6 1-6 藤井(関大)

1935(昭和10)年

【関西学生庭球選手権】第11回

(8月 8日～ 甲子園)

(男子シングルス)

▽1回戦

荒木 彰夫 1-6 0-6 奥村(関大)
城野 修一 6-0 6-1 春山(関大)

▽2回戦

改発 輝弥 0-6 1-6 広瀬(関大)

(男子ダブルス)

▽2回戦

小林・荒木 3-6 6-3 6-4 春山・山崎(関大)

▽3回戦

岩田・竹端 1-6 0-6 倉光・奥村(関大)

井上・北川 7-9 6-3 6-3 広瀬・川勝(関大)

▽準々決勝

一木・井上 2-6 3-6 川村・清洲(関学)

1935(昭和10)年

【関西庭球選手権】第14回

(9月 7日～ 甲子園)

(男子シングルス)

▽3回戦

城野 修一(同大) 0-6 2-6 尾崎(関学)

(男子ダブルス)

▽2回戦

宮尾・城野(同大) 2-6 4-6 藤井・倉光(関大)

1936(昭和11)年

◆社会:日、ソ連軍縮。2.26事件。日、独防共協定調印。

◇SPT：第4回 冬季五輪 ガルミッシュ・パルテンkirchen大会(2/6~2/16)
第11回 ベルリン五輪(8/1~8/16)。
◇本学テニス：同志社高商、全国高専庭球大会で優勝。

1936(昭和11)年

【定期戦】第9回 対 立教大学戦

(月 日・ 日 同志社)

× 同志社 3 (複1-2 単2-4) 6 立教大
(ダブルス)

No1○井上・北川 1-6 7-5 6-3 9-7 田中(網)・山県
No2×城野・中垣 5-7 4-6 6-4 6-4 1-6 岡 高橋
No3×桂 岩田 0-6 1-6 1-6 田中(能)・志賀
(シングルス)

No1×井上 元正 2-6 1-6 6-3 3-6 田中(網)
No2○城野 修一 6-3 6-1 6-1 岡
No3○北川 武造 6-3 9-7 1-6 6-2 広瀬
No4×中垣 正綱 2-6 0-6 3-6 山県
No5×桂 0-6 2-6 2-6 志賀
No6×岩田惣一郎 1-6 1-6 2-6 田中(能)

1936(昭和11)年

【毎日庭球選手権】第15回

(5月 1日~7日 浜寺)

(男子ダブルス)

▽3回戦
城野・中垣(同大) 1-6 0-6 木下・清洲(関学)

1936(昭和11)年

【全日本学生庭球選手権】第8回

(8月 日~ 甲子園)

(男子シングルス)

▽4回戦
井上 元正(同大) 1-6 2-6 木下 (関学)

1936(昭和11)年

【関西学生庭球選手権】第12回

(8月 5日~ 甲子園)

(男子シングルス)

▽準々決勝
井上 元正 1-6 3-6 木下(順)(関学)

1936(昭和11)年

【関西庭球選手権】第15回

(9月 日~ 甲子園)

(男子シングルス)

▽1回戦
北川 武造(同大) 3-6 2-6 奥村 (関大)
▽4回戦
井上 元正(同大) 0-6 2-6 龍田 (関学)
岩田 (同大) 1-6 0-6 木下 (関学)

(男子ダブルス)

▽2回戦
井上・北川(同大) 3-6 2-6 戎・倉光(関大)

1936(昭和11)年

【全日本庭球選手権】第15回

(10月28日~ 9日 早大・明大)

(男子シングルス) (B-64)

▽1回戦

井上 元正(同大) def 不破 (甲南高)
(男子ダブルス) (B-32)

▽1回戦

井上・北川(同大) def 佐藤(東京大)・伊藤(神戸大)

1937(昭和12)年

◆社会：盧溝橋事件(日中戦争勃発)(7/7)。

国民政府、国共合作を宣言。日、独、伊、三国防共協定調印。

◇テニス：甲子園100面コート完成。

◆本学：神棚事件等で、湯浅総長一(引責)辞任。

◇本学テニス：第10回 対 立教定期戦 敗戦、これ以後昭和16年まで連敗する。(同志社スポーツの歩み1960刊)

1937(昭和12)年

【定期戦】第10回 対 立教大学戦

(月 日・ 日 立教大)

× 同志社 (複 - 単 -) 立教大

1937(昭和12)年

【関西学生庭球選手権】第13回

(4月 7日~ 甲子園)

(男子シングルス)

▽1回戦

荒木 彰夫 1-6 0-6 奥村 (関大)
城野 修一 6-0 6-1 春山 (関大)

▽2回戦

改発 輝弥 0-6 1-6 広瀬 (関大)

▽4回戦

北川 武造 3-6 3-6 宮井 (関学)
岩田惣一郎 3-6 0-6 生島 (関学)

▽準々決勝

井上 元正 3-6 0-6 生島 (関学)

(男子ダブルス)

▽2回戦

小林・荒木 3-6 6-3 6-4 春山・山崎 (関大)

▽3回戦

岩田・竹端 1-6 0-6 倉光・奥村 (関大)

▽準々決勝

井上・北川 7-9 6-3 6-3 広瀬・川勝 (関大)

▽準決勝

井上・北川 5-7 4-6 3-6 宮井・生島 (関学)

1937(昭和12)年

【関西Bクラス庭球トーナメント】

(月 日~)

(男子ダブルス)

▽準決勝

城野・岩田(同大) 7-5 6-8 6-4 6-8 5-7 中村・今井(関大)

1937(昭和12)年

【関西庭球トーナメント】ローンテニス社

(月 日~)

(男子シングルス)

▽2回戦

竹端 策(同大) 2-6 6-3 8-10 池北 (関大)

(男子ダブルス)

▽1回戦

小林・改発(同大) 6-1 6-3 池北・堀内(関大)

1937 (昭和12)年

【関西庭球選手権】第16回

(9月5日～ 甲子園)

(男子シングルス)

▽2回戦

中垣 正綱(同大) 2-6 6-0 6-2 川勝 (関大)
岩田惣一郎(同大) 6-3 6-3 中村 (関大)
北川 武造(同大) 6-1 6-3 福田 (関大)

(上記3名の3回戦戦績 不明)

▽3回戦

井上 元正(同大) 2-6 3-6 奥村 (関大)

▽4回戦

城野 修一(同大) 1-6 0-6 生島 (関学)

(男子ダブルス)

▽2回戦

中垣・竹端(同大) 4-6 8-6 3-6 池北・堀内(関大)
城野・岩田(同大) 6-0 4-6 6-3 今井・中村(関大)
小林・改発(同大) 0-6 0-6 倉光・奥村(関大)

▽準々決勝

城野・岩田(同大) 3-6 8-10 奈智・山県(関学)

1937 (昭和12)年

【全日本庭球選手権】第16回

(11月10日～19日 甲子園)

(男子シングルス) (B-64)

▽1回戦

岩田惣一郎(同大) 2-6 4-6 3-6 岡田 (慶応大)
井上 元正(同大) 2-6 4-6 2-6 高橋 (東京大)

(男子ダブルス) (B-32)

▽1回戦

井上・北川(同大) 5-7 4-6 8-6 5-7 中野・松本(法政大)

(混合ダブルス) 第3回

▽1回戦

川廷(OB同大)・ピアーズ 4-6 2-6 田中・飯田

1937 (昭和12)年

【全日本学生東西対抗庭球試合】第7回

(11月22日・23日 甲子園)

<男子>

× 西軍 3 (複1-4 単2-6) 10 東軍 (ダブルス)

No.5○井上・北川 6-2 6-3 6-0 高橋・中林 (同大) (八高)

1938 (昭和13)年

◆社会：国家総動員法公布(4/1)施行(5/5)。ドイツ、オーストリアを併合。

◇SPT：東京五輪(1940年開催)返上決定。

◆本学：牧野 虎次一総長に就任。

◇本学テニス：第11回 対 立教定期戦 敗戦。

(同志社スポーツの歩み 1960 刊)

1938 (昭和13)年

【定期戦】第11回 対 立教大学戦

(月 日・ 日 同志社)

× 同志社 (複 - 単 -) 立教大

1938 (昭和13)年

【関西学生庭球選手権】第14回

(4月3日～ 甲子園)

(男子シングルス)

▽4回戦

中村 (同大) 1-6 6-8 富永 (関学)

(男子ダブルス)

▽準々決勝

中村・今井 4-6 6-4 3-6 生島・山縣(関学)

1938 (昭和13)年

【関西庭球選手権】第17回

(9月4日～ 甲子園)

(男子シングルス)

▽2回戦

竹端 策(同大) 8-6 3-6 6-8 秋草 (関大)

守屋 (同大) 1-6 2-6 奥村 (関大)

山本 (同大) 4-6 1-6 池北 (関大)

太田 (同高商) 6-8 6-8 今井 (関大)

福持 (同高商) 3-6 6-4 2-6 広瀬 (関大)

(男子ダブルス)

▽1回戦

荒木・山本(同大) 6-3 6-1 松田・渡辺(関大)

▽2回戦

荒木・山本(同大) 0-6 0-6 広瀬・奥村(関大)

1938 (昭和13)年

【京都オープン庭球トーナメント】

(月 日～)

(男子シングルス)

▽準々決勝

岩田惣一郎(同大) 6-4 6-3 福田 (関大)

1939 (昭和14)年

◆社会：国民徴用令公布。ドイツ、ポーランドに進撃。

英仏、ドイツに宣戦布告(第二次世界大戦勃発)(9/1)。

◇テニス：【関西学生庭球選手権】第15回

昭和14年度は、ゴム不足(配給制限)の為、

関西学生庭球選手権大会は中止

◇本学テニス：第12回 対 立教定期戦 敗戦。

(同志社スポーツの歩み 1960 刊)

1939 (昭和14)年

【定期戦】第12回 対 立教大学戦

(月 日・ 日 立教大)

× 同志社 (複 - 単 -) 立教大

1939 (昭和14)年

【関西学生庭球選手権】第15回

昭和14年度は、ゴム不足(配給制限)の為、
関西学生庭球選手権大会は中止

1939 (昭和14)年

【毎日庭球選手権】第18回

(5月26日～7日間 中モズ)

(男子シングルス)

▽4回戦

岩崎 善祐 (OB 同大) 9-11 1-6 広瀬 (関 大)

1939 (昭和14) 年

【全日本庭球選手権】第18回

(11月 6日~14日 甲子園)

(男子シングルス) (B-64)

▽1回戦

岩田惣一郎(同大) 2-6 2-6 2-6 ブンチェック (ユゴ)

1939 (昭和14) 年

【中国庭球選手権】

(月 日~)

(男子シングルス)

▽準々決勝

岩田惣一郎(同大) 10-8 1-6 6-8 奥村 (関 大)

1940 (昭和15) 年

◆社会：日・独・伊・三国同盟条約、ベルリンで調印(9/27)。紀元2600年記念式典。独軍、パリ占領、仏、降伏。

◇SPT：第12回 ヘルシンキ五輪(東京五輪の代替) -中止(第2次世界大戦の為)。

◆本学：『良心の碑』大学正門前に建立。

◇本学テニス：第13回 対 立教定期戦 敗戦。(同志社スポーツの歩み 1960 刊)

1940 (昭和15) 年

【定期戦】第13回 対 立教大学戦

(10月 1日 立教大)

× 同志社 0 (複0-3 単0-6) 9 立教大 (ダブルス)

No1×岩田・荒木 1-6 2-6 田中・水谷

No2×小林・池上 5-7 1-6 吉田・河野

No3×神社・橋本 0-6 1-6 原田・脇田

(シングルス)

No1×岩田惣一郎 6-1 1-6 4-3 日没 田中

No2×小林 一雄 5-7 6-4 2-6 水谷

No3×荒木 彰夫 2-6 4-6 吉田

No4×橋本 淳 4-6 1-6 原田

No5×池上 進 6-3 3-6 1-6 河野

No6×神社稲太郎 1-6 1-6 岡田

1940 (昭和15) 年

【対抗戦】 対 大商大戦

(月 日)

× 同志社 (複 - 単 -) 大商大

1940 (昭和15) 年

【関西学生庭球選手権】第15回

(5月 6日~ 甲子園)

(男子シングルス)

▽4回戦

松浦 靖雄 2-6 7-5 2-6 山縣 (関 学)

(男子ダブルス)

▽3回戦

松浦・上野 0-6 3-6 儀賀・川副 (関 学)

1940 (昭和15) 年

【毎日庭球選手権】第19回

(7月16日~ 中モズ)

(男子ダブルス)

▽2回戦

松浦・上野(同大) 6-4 6-4 角野・森田 (関 学) (3回戦以降 不明)

1940 (昭和15) 年

【全日本学生庭球選手権】第12回

(8月 5日~16日 甲子園)

(男子シングルス)

▽2回戦

上野 (同大) 6-1 4-6 6-3 清水 (関 大) (上野の3回戦戦績 不明)

▽3回戦

松浦 靖雄 7-5 2-6 2-6 中村 (関 学)

1940 (昭和15) 年

【全日本庭球選手権】第19回

(8月28日~9月8日 田園C)

(男子シングルス) (B-64)

▽1回戦

松浦 靖雄(同大) def 山川 (慶応大)

(男子ダブルス)

▽1回戦

城野・岩崎 5-7 1-6 2-6 中谷・若田 (明治大)

1940 (昭和15) 年

【関西庭球選手権】第19回

(9月15日~23日 甲子園)

(男子シングルス)

▽5回戦

松浦 靖雄(同大) 2-6 2-6 山縣 (関 学)

1941 (昭和16) 年

◆社会：東条英機内閣成立。日本、対米英に宣戦布告(太平洋戦争勃発) (12/8)。防空頭巾・もんぺ・ゲートルの非常時服装急増。

◇テニス：審判用語が日本式となる。

【毎日庭球選手権】第20回 中止

【関西庭球選手権】第20回 (11月 8日~16日 甲子園)

◇本学テニス：第14回 対 立教定期戦 敗戦。

(同志社スポーツの歩み 1960 刊)

1941 (昭和16) 年

【定期戦】第14回 対 立教大学戦

(月 日 同志社)

× 同志社 (複 - 単 -) 立教大

1941 (昭和16) 年

【全日本学生東西対抗庭球試合】第11回

(月 日・ 日)

<男子>

× 西 軍 4 (複2-2 単2-5) 7 東 軍

(ダブルス)

○桜井・片岡 7-9 1-6 6-4 7-5 4-6 斉藤・松井 (同大・京大) (慶応大)

(シングルス)

○田平 興一 3-6 5-7 3-6 平井

(同 大)

(法政大)

▽ 回戦 橋本 淳(同大) - ○村山 (甲子園ク)
橋本主将以下一全員出場

1941 (昭和16) 年

【関西学生庭球選手権】第16回

(4月20日～ 甲子園)

(男子シングルス)

▽4回戦

松浦 靖雄 2-6 7-5 2-6 山縣 (関 学)

(男子ダブルス)

▽準々決勝

松浦・上野 2-6 6-4 3-6 山縣・黒川 (関 学)

1941 (昭和16) 年

【毎日庭球選手権】第20回 中 止

1941 (昭和16) 年

【関西庭球選手権】第20回

(11月 8日～16日 甲子園)

(男子シングルス) (男子ダブルス)

1942 (昭和17) 年

◆社会：日・独・伊・三国軍事協定ベルリンで調印(1/18)。

シンガポール占領。ミッドウェイ海戦で敗北。

銃鉄生産高、戦前最高に達する。

◇テニス：【全日本庭球選手権】中 止 記載なし

◆本 学：新島遺品庫竣工。

◇本学テニス：【定期戦】第15回 5対4 立教大学戦 勝利。

【定期戦】第 2 回 2対7 京都大学戦 敗戦。

【定期戦】第1 回 4対5 大阪商科大学戦 敗戦。

(創始者)昭和17年卒 橋本 淳 氏。(同志社スポーツの歩み 1960刊)

1942 (昭和17) 年

【定期戦】第15回 对 立教大学戦

(月 日・ 日 立教大)

○ 同志社 5 (複 - 単 -) 4 立教大

(同志社メンバー)

橋本 池田 神社 由良 松浦 田平 桜井(敬)

1942 (昭和17) 年

【定期戦】 对 京都大学戦

(月 日)

× 同志社 2 (複 - 単 -) 7 京成大

(同志社メンバー)

橋本 池田 神社 由良 松浦 田平 桜井(敬)

(京大メンバー) 久野 片岡 大野 中條 飯尾 服部

(京大全盛時代) 関西大学対抗一優勝 全国大会一第3位

1942 (昭和17) 年

【定期戦】第1回 对 大阪商科大学戦

(月 日)

× 同志社 4 (複 - 単 -) 5 大商大

(創始者) 昭和17年卒 橋本 淳 氏

1942 (昭和17) 年

【関西庭球選手権】第21回

(5月16日～24日 甲子園)

(男子シングルス) (男子ダブルス)

1942 (昭和17) 年

【毎日庭球選手権】第21回

(8月 7日～14日 中モズ)

(男子シングルス)

▽準々決勝

松浦 靖雄(同大) 0-6 6-2 5-7 1-6 乾 (関 学)

1942 (昭和17) 年

【関西学生庭球選手権】第17回

(11月 日～ 日 甲子園)

(男子シングルス) (男子ダブルス)

辻本主将以下一全員出場

1942 (昭和17) 年

【全日本庭球選手権】予選一京都地区大会

(月 日～ 日)

(男子ダブルス)

▽決 勝 橋本・神社(同大) <優 勝>

1942 (昭和17) 年

【全日本庭球選手権】 中 止 記載なし

1942 (昭和17) 年

【全日本庭球選手権】第21回

(月 日～ 月 日)

(男子シングルス) (B-64)

▽1回戦

松浦 靖雄(同大) def 山川 (慶応大)

1943 (昭和18) 年

◆社会：学徒出陣(10/21)。徴兵猶予制度廃止。

伊、無条件降伏(9/8)。鋼材生産高、戦前最高に達する。

◇テニス：(戦争の為 中 止 記載なし)

◇本学テニス：軍から庭球部、解散命令を受ける。

(部 員) 辻本 神社 由良 松浦 石川 守山 田平 福長 清田

桜井(敬) 桜井(修) 高山 島岡 (同志社スポーツの歩み 1960刊)

1944 (昭和19) 年

◆社会：ルマゲイ上陸(6/6) 連合軍パリ開放(8/25)

米軍サイパン島上陸(6/15) 連軍、独国境突破。

B29 米爆撃機東京初空襲 神風特攻隊編成。

昭和新山(洞爺湖南岸)誕生(6/23)。

関門海底鉄道トンネル上下開通(8/8)。

◇テニス：(戦争の為 中 止 記載なし)

◆本 学：高等商業学校は経済専門学校、

専門学校は外事専門学校と改称。工業専門学校設置。

◇本学テニス：(戦争の為、庭球部解散命令により活動中止)

(同志社スポーツの歩み 1960刊)

1945 (昭和20) 年

◆社会：独軍、連合軍に無条件降伏(5/7)。

広島(8/6AM8:15)、長崎(8/9AM11:02)一原爆投下。

日本軍、ポツダム宣言受諾し、無条件降伏(8/15)(終戦)。

◇テニス：(戦争の為 中 止 記載なし)

◇本学テニス：(戦争の為、庭球部解散命令により活動中止)